



ごあいさつ

5月の市長選にて、市長が再選されました。今回の後期基本計画の期間は市長の任期と同期間となります。私達市議会は、二代表制に基づき公正かつ厳正に、行政のチェック機関としての役割をしっかりと果たしてまいります。市民の声を幅広く市政に反映し、皆様の安全・安心な生活を確立すべく邁進いたします。今後とも、ご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



西八千代地区小中学校

「（仮称）みどりが丘小学校分離新設校」の諸準備が進み、第4回設立準備委員会において、校名候補が「みどりが丘第二小学校」にまとまりました。今後、定例教育委員会で承認を得た後、第3回八千代市議会定例会に、学校設置条例とともに提出され議決を経て正式に定まることとなります。



建設中の（仮称）みどりが丘小学校分離新設校

中学校対策としては、5月末に千葉県教育委員会が「県立高校改革推進プラン・第2次実施プログラム」（案）において、「令和10年度に県立八千代東高校の校舎を使用し、県立八千代東高校と県立八千代西高校を統合する案」を示したことが挙げられます。「第2次実施プログラム」（案）は、パブリックコメント等を経て、調整がなされた後、令和7年度中に定まる見込みとなっています。そこで、本市では「西八千代地区小中学校等対策検討委員会」において、県立八千代西高校を活用できる可能性について、今後調査・研究を進めていく予定です。

小中学校体育館への
エアコン設置

小中学校では、令和6年度までで、児童生徒が通常使用するすべての教室へのエアコン設置が完了しました。

一方で、近年夏の酷暑では、熱中症警戒アラートの発表などにより、体育の授業や部活動が中止となることが年々増加しており、子ども達の安心・安全な教育環境のため、また、災害時は避難所になるほか、夜間や休日に一般開放される場所でもあるため、当会派は議会質問にて、度々体育館への空調設備設置を要望してきました。

現在、中学校体育館は令和8年夏、小学校体育館は令和9年夏の稼働を目指して整備を進めております。



体育館エアコン設置（イメージ）

防災道の駅やちよ

道の駅やちよ「ふるさとステーション」は、令和8年度中のリニューアルオープンを目指しております。リニューアル工事期間中は「農業交流センター」の芝生広場内の仮設店舗などで、地元野菜やジェラート等の販売を予定しております。

国の事業において、「ふるさとステーション」に、令和6年度末に24時間対応の災害対応型トイレ（防災トイレ・レジリエンストイレ）が完成いたしました。

災害対応型トイレとは、平常時は普段通りのトイレとして利用が可能ですが、災害時は、洗浄水量を5Lから1Lに切り替えることで少量の水で洗浄可能となります。

停電時や浄化槽が破損した時等でも、管を切り替えて、排泄物を地下の汚水ピットに停留させることで、トイレの機能を確保いたします。

今後も国・県と連携を深め、施設強化を進めて参ります。



新庁舎建設事業



令和7年7月に新庁舎建設工事（建築・電気・機械）の入札が行われ、建築工事は清水建設株式会社、電気設備工事はエネシス・モデン・鈴木特定建設工事共同企業体がそれぞれ落札いたしました。また、機械設備工事は調査基準価格を下回る入札となったことから、低入札調査を経て落札者が決定します。（令和7年7月24日現在）今後、令和7年第3回定例会において、これら3つの工事について、慎重審議いたします。承認されれば令和7年10月より工事が始まる予定です。

工事が始まると、市役所駐車場の台数が大幅に減少するので、市役所を訪れる際はご注意ください。

市庁舎は、平時の行政・市民サービス機能に加え、災害発生時における情報収集・伝達、応急活動の指揮等、災害時の司令塔としての役割が求められます。市民にとって、最良の市庁舎となるよう、厳しい目で見守っていきます。

会派代表

大塚

裕介

福祉常任委員会（委員長）



この度、服部市長が再選され、3期目の任期が開始しました。後期基本計画の計画期間とも一致するこの間においては、複数の大型事業が控えており、特に、令和10年の供用開始に向けて準備を進めている新庁舎建設は、今秋からの着工を予定しています。

また、完成直前の令和9年は、八千代市が60周年を迎え、人に例えるなら還暦となる節目の年です。還暦は、十二支と十干の組み合わせが一巡し、生まれた年の干支に戻ることを意味します。八千代市も、新たな未来へのスタートを切るための岐路に立っており、いわば重大な転換期を迎える時期ともいえます。

これまでの八千代市の歴史に思いを馳せ、先人達が築き上げてきた財産を守るとともに、私自身、さらに情熱を燃やし、合意形成を重んじながら、会派代表として、一議員として、市民の皆様の声を市政の発展に繋げ、八千代市がより成熟し、住みやすいまちとなるよう、全力で邁進してまいります。

塚本

路明

議選監査委員
総務常任委員会



5月に市長選挙が終わり服部市長による3期目の市政運営が始まりました。本市においても少子高齢化の波と物価高騰の影響によって市民生活に大きな反響を及ぼしております。

今、本市の財政状況は市債残高が減少傾向に推移している事もあり公債費負担比率は改善しているように見えますが、決してそうでは無く財政力指数は低くなり経常収支比率が依然と高止まりし、財政の硬直化が顕著に示されています。

また、これから数年の市政運営を鑑みると、（仮設）みどりが丘分離新設校約47億円、市民体育館改修工事約30億円、新市庁舎建設事業約130億円と、200億円以上の多大な財政負担が積みあがって来ます。

今現在より、既存・新規の事務事業の廃止や見直しを断行し、義務的経費及び投資的経費等、経常的経費の削減に取り組む事を指摘し私たち市議会もチェック機能を果たして参ります。

萩原

麻由美

議会運営委員会（副委員長）
文教経済常任委員会（副委員長）



昨今の物価高騰による市民のみなさまへの影響は、計り知れない状況と認識しております。限られた財源の優先順位を見極め、市民の生活を守るべく施策を講じることが重要であると考えます。

令和7年第二回定例会での代表質問にて、再選された服部市長に政治姿勢を問い、自ら3期目の志を述べていただきました。そして、待機児童0に向け保育士の処遇改善、県内37市町村が制定している犯罪被害者支援条例の制定、さらには居住支援協議会設置にむけ、住宅と福祉の関係者が連携した地域における総合的・包括的な居住支援体制の整備推進を要望しました。また、地元上高野の都市計画道路3・4・1号新木戸上高野原線については、一時的に施工した車道部を早急に歩道として開放し、通学路としての活用を求めました。これらは、市民のみなさまの声を反映したものであり、その実現に向けた取り組みを今後も続けて参ります。これからも市民のみなさまの声を最重要視し、全力を注ぐ所存です。



令和7年
第2回
定例会動画

力強く 市政を 進めてゆく

八千代市議会
会派自由民主党

辰巳

百恵

都市常任委員会
都市計画審議会委員



令和7年第一回定例会にて、西八千代地区の小中学校対策・市庁舎整備・地域医療・防災道の駅・道路問題・放課後子ども教室について、質問し要望を述べました。

小学校対策では、市の説明会等に参加し、地域の声を聴いております。令和8年4月の開校に間に合うよう、通学路問題等の解決に向けて動いて参ります。中学校対策も県の動向に注視し、皆様への説明責任も果たして参ります。

地域医療問題では、八千代医療センターの小児医療分野・周産期医療分野で、市内・市外・時間内・時間外の患者数を明らかにし、八千代医療センターが千葉県の中核病院として、広域性・公益性を担っている事実を伝え、公的な支援を県や国に要望することが必要と要望いたしました。

防災道の駅やちよ・放課後子ども教室について、引き続き、市民の皆様の要望を伝えてまいります。今後も皆様と共に汗を流して、地域の活動をして参ります。「政治と生活の架け橋」となれるように研鑽を重ねて参ります。ご指導よろしくお願い申し上げます。



令和7年
第1回
定例会動画

いとう みきお

伊東 幹雄 議員 ご逝去のお知らせ



伊東幹雄議員（79歳）が、病氣療養中のところ薬石の効なく、去る7月20日に逝去いたしました。

故伊東幹雄議員は、昭和58年に初当選し、11期に渡り、市民の福祉向上と市政の発展の為に、尽力してまいりました。

その間、予算・決算審査特別委員会委員長、常任委員会委員長などの要職を歴任してまいりました。

令和5年の全国市議会議長会第99回定期総会において、「議員在職40年」として表彰をうけました。

会派として、長らく議会活動を共にした伊東幹雄議員に対しましてここに哀悼の意を表し、謹んでご冥福をお祈りいたします。